



令和8年1月15日
国土交通省関東地方整備局
利根川下流河川事務所
茨城県神栖市
千葉県銚子市・香取市・東庄町

「第7回利根川下流部自然再生シンポジウム in 香取」を開催します

～水郷・利根川の魅力を地域とつむぐ～

利根川下流部は、水郷として河川では日本最大級のヨシ原が広がり、希少かつ多様な生物の生息、生育、繁殖の場が形成されています。この貴重な自然環境を保全・再生するための整備や取り組みを流域4つの自治体と連携して行っており、整備した各自然再生地では地元中学校4校と特色を生かした環境学習を実施しております。

第7回利根川下流部自然再生シンポジウム in 香取では「水郷・利根川の魅力を地域とつむぐ」をテーマに、環境学習に参加した地元中学生からの発表をはじめ、専門家による基調講演やパネルディスカッションを実施し、環境や自然再生による取り組みを広く地域の皆様に知っていただくことで、自然や生態系の魅力を再認識し、地域の発展につなげていきます。

1. 実施日時：令和8年2月6日（金）13：00～15：30
2. 場 所：香取市小見川市民センター いぶき館（千葉県香取市羽根川38番地）
3. 定 員：会場 先着 100名、オンデマンド配信 200名
4. 応募方法：別添チラシをご確認ください。
5. 共 催：国土交通省 関東地方整備局 利根川下流河川事務所
茨城県神栖市、千葉県銚子市・香取市・東庄町
6. 主な内容：地元中学生による環境、体験学習の成果報告発表
各方面の専門家による講演やパネルディスカッション ※詳細は別添チラシ参照

<発表記者クラブ> 千葉県政記者会 茨城県政記者クラブ 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 利根川下流河川事務所

電話：0478-52-6361（代表） FAX：0478-52-9724

副所長 伊藤（内線：205）

流域治水課 建設専門官 田村（内線：402）

「第7回利根川下流部自然再生シンポジウム in 香取」

取材申込書

「第7回利根川下流部自然再生シンポジウム in 香取」について、取材を希望される報道機関の方は、事前にメールにてご登録をお願いします。

■ E-mail : ktr-tonege-721-koho@gxb.mlit.go.jp

■ 期 限 : 令和8年2月4日（水）まで

1. 報道機関名 : _____

2. 担 当 者 : _____

3. 連 絡 先 : _____

開催テーマ

水郷・利根川の魅力を地域とつむぐ

基調講演

利根川流域と渡良瀬遊水地

三橋 さゆり 一般財団法人 日本建設情報総合センター 理事

話題提供

水郷地域や歴史的な資源を活用した観光振興の取組

行木 章 香取市役所 商工観光課 観光班長

発表

利根川の自然環境を活用した体験学習に参加して

香取市立香取中学校1・2年生 東庄町立東庄中学校2年生
銚子市立銚子西中学校1年生 神栖市立波崎第二中学校1年生

パネルディスカッション

コーディネーター 坂 有希子 鳥類専門家

パネリスト

伊藤 友則

香取市長

三橋 さゆり

日本建設情報総合センター 理事

田畑 光義

香取中学校 校長

藍 憲一郎

千葉県水産総合研究センター
内水面水産研究所 所長

柳堀 弘

波崎愛鳥会 会長

三枝 伸太郎

利根川下流河川事務所 事務所長

in
香取

第7回
利根川下流部
自然再生シンポジウム



本シンポジウムは、土木学会CPD認定プログラムです。

受講証明書は、シンポジウム終了後のアンケートにご回答いただくことで、発行させていただきます。
事前にご登録頂いたメールアドレスに受講証明書を送付いたします。

開催日

令和8年

2月6日 金 13:00 ▶ 15:30

受付開始 12:30 ~

締切

1/28
水

会場

香取市小見川市民センター いぶき館

参加費

無料

会場

先着

100名

オンデマンド
配信

200名

配信期間：2/20～3/15

参加
方法

事前登録

右記二次元コードの「申込み専用フォーム」
からお申込みください。



問合せ先

国土交通省 関東地方整備局 利根川下流河川事務所 流域治水課

TEL

0478-52-6366

担当

田村・降幡

共催



国土交通省 関東地方整備局
利根川下流河川事務所



千葉県
香取市



千葉県
東庄町



千葉県
銚子市



茨城県
神栖市

協力

千葉県内水面漁業協同組合連合会
茨城県内水面漁業協同組合連合会

都心から車で約 1.5 時間、成田空港から車で約 1 時間のところに、かつて日本のベネチアといわれた水郷があります。そこは湿地や水路が入り組み、利根川には国内最大級のヨシ原が広がります。広大なヨシ原は国内有数のコジュリン・オオセツカの棲かであることをはじめ、湿地や干潟には多くの希少種を含む多様な生物が生息・生育しています。しかし、近年は高水敷へのセイタカアワダチソウなどの外来植物が侵入するなど、ヨシ原や湿地が減少しています。

利根川下流では、自然環境を再生するための取り組みが 2013 年からスタートしました。「多様な生物の生息・生育場を育む、湿地・水際環境の保全・再生」として、千葉県と茨城県、利根川の両岸に広がるヨシ原や干潟・ワンドの再生を行ってきました。最近では、コウノトリが定着、繁殖も行われるようになっていきます。この自然環境を次世代に継承するための取組として、再生した自然地で中学生による環境・体験学習が 2020 年から始まり、この場所を守るために何ができるか新たな魅力を発見する学びの場となっています。このような自然を再生する取組みや活用は、沿川地域にとっても水郷・利根川がさらに魅力的な場として認知され、地域振興につながることを期待されます。

そこで、環境・体験学習に参加した中学生の皆さんをはじめ、各方面から専門家をお招きして「水郷・利根川の魅力を地域とつむぐ」をテーマに自然や生態系を守り活用し、魅力を再認識し、地域の発展につなげるためのシンポジウムを開催します。



会場参加

事前登録～開催当日までの流れ【先着100名】

1 事前登録

会場に参加するには、事前登録が必要です。
申込み専用フォーム「下記 URL」または「右図 二次元コード」より、お申込みください。
<https://forms.office.com/r/2PSxpx9m9Q>



2 開催当日

受付開始後～開始時刻前までに会場にお越し頂きまして、受付をお済ませください。

オンデマンド配信

事前登録～視聴（アンケート回答）までの流れ【200名】

配信期間：2/20（金）～3/15（日）

1 事前登録

オンデマンド配信を視聴するには、事前登録が必要です。
申込み専用フォーム「下記 URL」または「右図 二次元コード」より、お申込みください。
<https://forms.office.com/r/2PSxpx9m9Q>



2 登録完了メール

「事前登録」完了後、「登録完了メール」が届きます。届いたら、登録完了です。
※登録完了メールが届かない方は、下記事務局までお問合せください。

3 視聴 URL メール

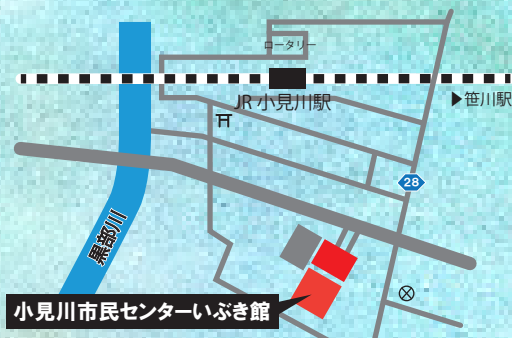
事務局より、「視聴 URL」を付したメールを送付いたします。
「視聴 URL」をクリックして、配信期間内【2/20（金）～3/15（日）】にご視聴ください。
※視聴にかかるモバイルデータ通信費などは参加者の負担となります。有線接続もしくは Wi-Fi 接続の環境下でのご参加を推奨します。

4 アンケート回答

アンケートは、上記「3. 視聴 URL メール」に記載している「アンケート URL」をクリックしてご回答ください。
ご視聴後、アンケートは 令和 8 年 3 月 20 日（金）締切 までにご回答ください。

※個人情報は、本シンポジウムの連絡・受講証明書の発行以外には使用いたしません。

アクセス



利根川下流部自然再生シンポジウム 事務局



公益財団法人 河川財団

E-mail tonekaryu@kasen.or.jp

TEL 03-5847-8305

担当 津久井・井上